

本市の学力の定着状況等

第2期あかし教育プラン

	教科等	平均正答率 %		本市と全国の差		
		本市	全国	H30	H29	
小6	国語	知識	70	71	-1	-1
		活用	54	55	-1	+1
	算数	知識	61	64	-3	-1
		活用	51	52	-1	+1
理科		60	60	0		
中3	国語	知識	78	76	+2	+3
		活用	62	61	+1	+2
	数学	知識	69	66	+3	+4
		活用	48	47	+1	+2
理科		68	66	+2		

○小学校においては、理科を除き、全国と同じか、もしくは下回っている。

○中学校は、すべての項目で上回っている。

○全国と同様、「知識」に関する問題(A)に比べ、「活用」に関する問題(B)に課題が見られる。

基本方針

- 一人ひとりに応じたきめ細やかな教育の充実
- 子どもが安心して学べる質の高い教育環境の実現
- 地域ぐるみで子どもの健やかな育ちを支える活動の推進

9つの方策

- ・確かな学力の育成/豊かな心の育成/健やかな体の育成/安心・安全の学習環境/一人ひとりに応じた教育/教職員の資質・指導力の向上/子ども家庭への支援/地域・家庭・学校の連携/社会情勢の変化への対応

「全国学力・学習状況調査」結果や「第2期あかし教育プラン」の趣旨を踏まえ、2019年度事業を進展させ、「コミュニティ・スクール」「教職員の資質・指導力の向上」「教職員研修の充実」等に取り組み、あかしの子どもたちのさらなる学力向上を図る。

1 子どもの学習意欲を高める取組

**新** 小学校英語教育強化事業

- グローバル化に対応した社会に必要なコミュニケーション能力の基礎を義務教育段階で定着させる。外国語・英語に興味・関心の高い児童生徒の能力をさらに伸ばす取組も実施する。
- ①2019 移行措置に伴う ALT の配置増  
小学校3・4年生 8時間(年間15時間)  
小学校5・6年生 25時間(年間50時間)
- ②小学校3~6年生を対象として、ALTを活用した、「AKASHI ENGLISH CAMP」を実施し、英語に興味・関心の高い児童の能力を更に伸ばす機会を作る。
- ③市独自の小学校教員研修、小中学校教員合同研修、研究会の実施等を充実させ、教員の指導力向上を図る。(H29~31、年間3回:H30 市内約300名参加)
- ④ALTによる小学校教員研修の実施  
(H29から学期に1回実施)

**拡** 教育研究事業

- 市指定教育研究事業  
＜小学校＞  
①人権・道徳 (谷八木小・2019.12.5発表)  
②教科・総合【外国語】 (沢池小・2019.11.29発表)  
③教科・総合【主体的】 (林小・2020.発表)  
⑤教育課題【生徒指導】(江井島小・2020.発表)  
＜中学校＞  
①道徳 (魚住中・2020.発表)  
②教科・総合 (朝霧中・2019.11.18発表)  
③生徒指導 (衣川中・2019.11.22発表)  
④体育 (野々池中・2020.発表)  
＜その他＞  
■伝統文化の学びの充実事業(谷八木小)＜県事業＞  
東北播小学校算数科(清水小)＜県事業＞  
全国小学校生活科・総合(大観小)＜全国事業＞  
県・東北播小学校外国語科(沢池小)＜県事業＞

**継** わくわく地域未来塾(県事業を活用)

- 小学3年生の国語・算数のつまづきを解消するため学習教室を土曜日に行い、基礎学力の定着を図る。  
(H29より市内全28校で実施)

**継** 数学・英語応援団(県事業を活用)

- 全国学力・学習状況調査結果の分析・検証に基づき、学力向上に向け、放課後を活用した学習会を全13中学校で実施する。(H30:全13校実施、参加生徒数約248名)

**改** 確かな学力向上プラン

- 確かな学力の育成に向けた学校の課題、取組や評価までをまとめたプランを作成し、授業時数の確保、履修内容の充実を図る。

**継** スクールフレンド・外国語活動支援スタッフの派遣

- 教員志望などの学生ボランティアを小・中学校に派遣し、児童生徒の学習の補助を行う。  
(H30実績:34校・36名)

**継** ICT機器の活用

- タブレット端末の効果的な活用について、授業づくりの研修を実施
- 教科等の内容に関連させ、プログラミング教育を推進

2 進路実現を支える取組

**継** プロから学ぶ創造力育成事業(県の事業を活用)

- 様々な分野で活躍する兵庫ゆかりのクリエイターを中学校へ招聘し、中学生を対象に講話や実演を行うことで、生徒のキャリア・プランニングの応力を育成する。  
(2年かけ市内全13校で実施・本年度最終年度)

3 豊かな心の育成への取組

**拡** 読書活動の一層の推進

- 全小中学校に学校司書の配置を拡充
- 読書活動推進校指定(高丘東小学校)
- 全中学校においてビブリオバトルの実施

**新** 共生社会の実現に向けて

- パラリンピックの魅力を伝える。  
→教材「I'm POSSIBLE」を使った授業を全小中学校にて、ボッチャ体験を全小学校にてそれぞれ実施する。

4 学習環境を支える取組

**継** 個に応じた指導の推進

- 小学校1年生でより小集団である30人学級を実施することにより、きめ細やかな指導を行い、教育活動の充実を図る。  
(H30:11校実施・平均児童数26.5人)
- 特別支援教育指導員、介助員、特別支援教育サポーター、生徒指導相談員、医療的ケアの児童に対する看護師の配置。

**拡** 普通教室への空調設備の設置

- 普通教室に続き、小・中学校の特別教室に空調設備設置工事を開始し、夏季休業日を市立小中学校において5日間短縮し、学習時間を確保し学力向上に資する。  
(H30:全中学校5日間実施、小学校なし)

5 学校の特色を支える取組

**改** コミュニティ・スクール導入検討事業

- 市内全小学校に、学校評議員制度に代わり学校運営協議会を設置し、学校・保護者・地域が一体となって、より良い学校づくりを目指す。
- 市教委に、CSコーディネータの配置。

**継** 小中一貫教育推進研究事業

- 併設型小中学校モデル校区(高丘中・錦城中)を参考に、「チーム中学校区 UNIT 会議」での取組を通して、子どもたちの「学び」と「育ち」の接続を図る。

6 教員の資質・指導力向上に向けての取組

**継** 中核市移行に伴い移譲される教職員研修の実施

- 移譲された年次研修等のさらなる充実へ、また、市の施策をふまえたまちづくり研修(市独自)も引き続いて実施する。

**改** 教職員の勤務時間適正化の推進

- モデル校での部活動指導員の配置、「ノー部活デー」完全実施
- 勤務時間外の電話対応について音声ガイダンスの導入
- 「定時退勤日」「ノー残業デー」の徹底